「酸化マグネシウム製剤」を服用中の患者さん・ご家族の方へ

● 酸化マグネシウム製剤の服用中に気をつけること

このおくすりは、まれに「高マグネシウム血症」という副作用が起こることがあります。

次のような症状がみられましたら、「高マグネシウム血症」の可能性がありますので、このおくすりの服用をやめて、すぐに、この紙又はこのおくすりをもって、医療機関を受診して下さい。

高マグネシウム血症の初期症状

吐き気、嘔吐、立ちくらみ、めまい、脈が遅くなる、皮膚が赤くなる、力が入りにくくなる、体がだるい、傾眠（眠気でぼんやりする、うとうとする）

このおくすりを長く服用し続けている患者さん、腎臓に病気のある患者さん、高齢の患者さんにおいて、「高マグネシウム血症」が多く報告されています。特に便秘症の患者さんでは、腎機能が正常な場合や通常服用する量でも重篤な例が報告されていますので、注意して下さい。

「高マグネシウム血症」は、放っておくと重い症状（息苦しい、意識がもうろうとする、心停止）になることがありますので、早めに医療機関を受診することが大切です。早めに発見し適切な処置をおこなえば大事に至ることはほとんどありません。

あなたが服用されている酸化マグネシウム製剤は、下記のおくすりです。

□酸化マグネシウム原末･錠･細粒	□重カマ
□重質酸化マグネシウム	□マグミット細粒・錠
□マグラックス細粒・錠	□（　　）

山善製薬株式会社

2015年10月作成